



市保連 だより

2018
(12月)

〔第477号〕

平成30年12月1日発行
一般社団法人熊本市保育園連盟
企画広報委員会
発行責任者 江 藤 美 信
〒860-0004 熊本市中央区新町2-4-27
熊本市健康センター新町分室2階
TEL (096) 322-0096
委員長 山 崎 敬太郎
委員 今村 修一 浦田 エミ
森下 美穂 田中 晋輔
新美 美穂



理 事 会

「NO-SIDE」

一般社団法人熊本市保育園連盟 園長委員会委員長
愛保育園 園長

三 浦 弘 文

今年に入り、巨大地震、異常気象による豪雨、台風等の自然災害が発生し、各地で甚大な被害が報告されています。

熊本においては地震から既に2年8ヵ月が経過していますが、今尚多くの人々が仮設住宅での生活を余儀なくされており、復旧、復興もまだ道半ばです。

最近、被災地で活躍されるスーパーボランティアの報道がなされていましたが、全国の被災地におもむき、他のボランティアにも大きく影響を与え、その存在が大きくクローズアップされました。

さて、「NO-SIDE」というのはラグビー用語で「試合終了」を意味しますが、日本においては会議等での激しい攻防戦の後、互いに融和ムードになることを意味します。

来年ラグビーワールドカップ日本大会が開催されます。ここ熊本の地においても10月、フランス・トンガ戦、ウェールズ・ウルグアイ戦が予定されています。

ラグビーワールドカップの公式ボランティアはTEAM NO-SIDEと呼ばれ、ラグビーに関する専門知識の有無、大小に関らず、各人がボランティアチームの一員となり、互いに協力しあい、ラグビーの試合を成功に導くことを目的とし、組織されています。

熊本市保育園連盟においては、来年、第62回全国私立保育園研究大会熊本市大会を控えています。大会の成功のためには連盟各位のお力を借りなければなりません。実行委員会メンバー

のみならず、皆様お一人お一人のご意見を吸い上げ、フィードバックしていくことは全国大会のみならず、各種イベントを成功へ導く鍵だと思います。

園長委員会では毎月実施されているブロック園長会において出された意見を理事会、全体園長会へのご提示させて頂いており、このことにより会員各位のご意見を組織運営に反映できると考えています。

全体園長会では熊本市行政、弁護士、社労士等から施設運営に関する重要な情報提供が行われ、さらに三役、各委員長からの活動報告、計画等、多岐に渡る情報提供の場となっています。

園長会終了後は熊本市保育推進連盟による活動報告が行われておりますが、保育園連盟と保育推進連盟は常に表裏一体であり、推進のお力添えにより、熊本市行政、並びに国への要望活動等が展開されております事もご承知ください。

園長会は全ての施設長が一同に会し、情報交換できる絶好の機会であります。熊本市保育園連盟組織が一丸となり、そのチーム力を十分に発揮できますよう、園長会へはご出席を頂きますようお願いいたします。

会がスムーズに進行し、会員の皆様にとって実のある時間となりますよう、園長委員会のメンバー一同、積極的に活動させていただきます。

皆様どうぞよろしくお願いいたします。



園長会だより

東部
 ブロック

「もちつ、もたれつ」

 東部園長委員会委員 宮 本 寿 子
 二岡保育園 園長

東部ブロック長を仰せつかって早半年が過ぎようとしています。保育士の頃には考えもしなかった園長会、ましてやブロック長など無縁の世界でした。いざ園長になってみると輪番制とすることで避けては通れないことを知り、4年後には当番が回ってくる現実を見ないようにしていましたが、あっという間に時は過ぎ、恐ろしいことに4月と同時にブロック長という役が両肩にのしかかってきました。

そんな私が何とか進行できているのもブロックの先生方の協力は基より、常に影となって私を支えて下さっている副ブロック長の先生の存在が大きいことは言うまでもありません。浅学な私には何よりも有難く、スマートなフォローと的確なアドバイスを下さる姿勢には、ブロックの中で一番リスペクトしていると言っても過言ではありません。そんな最強の先生の下で勉強できる機会を頂いたので、この二年間しっか

り学んでいきたいと思っています。更には経験豊富で聡明な先生方ばかりが揃っていらっしゃるブロックの環境を活かし、色々な先生方との対話を通して少しでもスキルアップができるようにしたいと思います。出来ない私だからこそ、皆さんにフォローしてもらっていることに甘えずいたい。



「融和」と「団結」と「元気」は東部ブロックを象徴する言葉です。その言葉通り5ブロックの中でも一番協力的で結束力があると自負しています。年齢や経験に関係なく「保育」という共通の言葉の下に集い、力を合わせて前進していく姿こそ東部ブロックであると思います。先生方の懐の広さと温かさに助けられもちつ、もたれつの関係の中で人として今よりも一歩成長していけるよう努めていきたいと思っています。

園長会だより

西部
 ブロック

「たいせつなこと」

 西部園長委員会委員 笠 田 たつ子
 モロナイ保育園 園長

40年前に友人たちは「(熊本の)みかん山は秋になると一面、オレンジ色になるんだよ。」と教えてくれた。その言葉を楽しみにして、東北育ちの私は春の青々した山を眺め、初夏にはみかんの白い花を楽しみ、ワクワクとその秋を待った。

秋、海辺の道を周り、ワクワク見上げた山は一面緑色で小さなオレンジのドットが点在。友人が「ほらね。」と指さす。しかし、山はどんなに目を凝らしても、一面オレンジ色には見えなかった。

あれから40年。今では秋の松尾のみかん山、河内のみかん山が一面オレンジ色に見える。

「星の王子さま」の絵本のなかで、王子さまにとって、きつねは最初、その他十万匹のうちの一匹のきつねでしかありませんでした。と書かれています。でも時が経つにつれて、友だちになり、絆が結ばれることで、王子さまにとっ

てかけがえのない存在になっていきます。「ものごとはこころでしか見ることができない。たいせつなことは目には見えない」(サン＝テグジュペリ)

熊本は私の自慢の故郷になり、西部ブロックの先生たちはたいせつな存在になりました。

「たいせつなこと」「和」を西部ブロックの園長会の先生方に教えて戴きながら、副ブロック長と会計の先生方と努めてまいります。よろしくお願い致します。



園長会だより

南部
ブロック

「変化の中にあるもの」

南部園長委員会委員
くすのき保育園 園長

成 松 サナエ

この度南部ブロック園長会の会長を務めさせて頂くことになりました、くすのき保育園 園長 成松サナエと申します。至らぬ点が多いですが、同ブロックの園長先生方に支えられながら、日々職を務めさせて頂いております。

保育業界に携わるようになって40年近く経ちますが、当初の頃とは大きく、業界・それらを取り巻く環境も変化してきたように日々感じます。家庭環境の変化から、子どもたちの生活スタイルの変化、それに伴い保育内容を環境に合わせ変化させていくことが今の保育業界には大切になってきているように思います。

年を経るにつれて、なかなか今の環境に共感できず、納得のいかないことも多々ありますが、私自身の家族との触れ合い、思い出、経験してきたことを基に、変化を実感し、理解に努めています。ただ、その根底にはいつも思いやりや優しさ、厳しさがありました。日々それ

らを感じることはとても難しいですが、変化の中にも変わらないものを大切に、私はこれから保育に携わっていきたいと思います。

その為にも私を含め職員には、柔軟な発想力・保育に対する確固たる思いを持ち続けてほしいです。定期的な園長会をはじめ、研修に参加すること、また会長を務めていく上で、多くの学ぶ機会を頂けたことを有り難く感じております。

学んだことを糧に、大切にお預かりしている子どもたちに真摯に向き合い、成長に関わるものとしての責任を果たして参りたいと思います。子どもたちの笑顔の為に、これからも園長として、また、南部園長会会長として32園の意見を反映できるよう、職務を行って参ります。



園長会だより

北部
ブロック

北部ブロック活性化に向けて

北部園長委員会委員
五丁こども園 園長

山 崎 恒 雄

北部ブロックに入って4年目の今年度、ブロック園長会の会長をすることになりました。

北部園長会は出席率があまり良くないといわれていました。これまでは約半分の出席だったように思います。ところが最近では、ほぼ7割出席に転じており、うれしい限りです。たまたま出席できない園長先生におかれましても、火の国まつりなどに職員を気持ちよく派遣して下さったり、全国大会実行委員にいただいたりと、配慮を感じる素晴らしいブロックでもあります。今後8割、9割出席へと進むように工夫が必要だと思っています。

ブロック園長会をどうしたら活性化できるかという討議を行った中で、研修機会を多く持たたいという意見がありました。それに応え、10月は園長、職員を対象とした新保育指針研修会を行いました。12月には久留米市の認定こども園に視察研修に行くことになりました。参加す

ることで知り得る、生の情報はきっとこれからの園運営に生かされると思います。ブロック園長会に参加し、園内の運営に結びつける事が、参加の意義と充実感を味わうことになると思います。

課題は、ブロック内の8園が認定こども園、16園が保育園という中で、共通の話題と、そうでない話題がありますが、積極的に制度の違いを勉強できる会にしていきたいと思います。そうすることで、これからの園運営を考えることができる新鮮な園長会にもなるかと思っています。

「箸よく盥水を回す」の例えのように、たらいの水を小さな箸で回し続けると、そのうち大きな渦となる。と言う心境で、残りの在任中にブロックのために精一杯奉仕したいと思います。



園長会だより

中央
ブロック

「保育環境について」

中央園長委員会委員 石 塚 龍 一
出水南保育園 園長

平成30年度及び31年度中央ブロック長を務めさせていただいております、出水南保育園園長の石塚龍一と申します。たくさんの先生方にご指導いただき、助けられながら頑張っておりますが、一生懸命務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

出水南保育園では、保育環境を整えることに関しても日々取り組んでいます。ひとりひとりの子どもたちが、それぞれ遊びに集中することができる環境かどうか日々考えています。また、職員を取り巻く環境もより良く整えていく必要があるように思います。パワハラなど人間関係等で問題があれば、育つ人も育てなくなるかと思います。保育の質の向上にも職員の勤務環境は大きく影響してくるのではないのでしょうか。保育職員だけではなく給食職員にも話を聞くと、まだまだ考えなければならないことがたくさんあるようです。

先日、市保連だより2018年8月号にIT導入補助金の記事が掲載されました。補助金自体の申請期間は過ぎていますが、保育業務や運営に関わる事務処理のICT化も保育の質の向上につながる一つ的手段ではないかと思います。事務作業の軽減や正確な記録を残せるようなところは人の手だけでは限りがあるように思います。出水南保育園では、まだICT化は進んでいませんが社会状況の変化によってはどうしても必要になる時が来るのかもしれない。

職員、子ども、関係者や様々な人たちを取り巻く環境の良化に取り組み、子どもたちの育ちに良い影響を与えられるように、日々学んでいきたいと思っております。



12月の予定

会 合	日時	会 場
理事会	3日(月)	熊本市国際交流会館 (3F国際会議室)
保育士役員会	12日(水)	熊本市国際交流会館 (3F研修室3)
園長会	18日(火)	くまもと県民交流館パレア (9F会議室1)

* . * . * . * . * ご結婚おめでとうございます * . * . * . * . *

供合保育園 平成30年11月23日 保育士 村上 恵里先生 (旧姓:三井)

